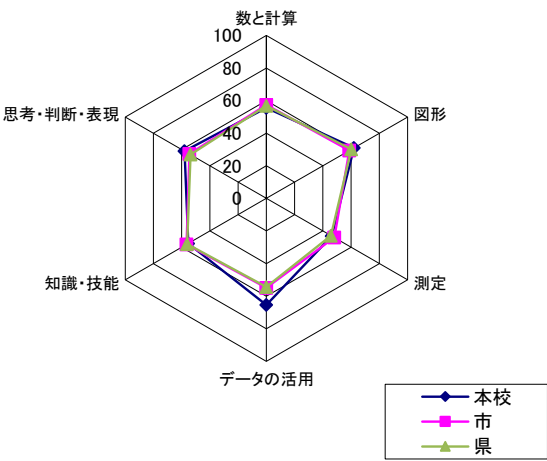


宇都宮市立東小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	55.6	57.4	56.9
	図形	62.0	58.7	60.1
	測定	46.3	48.1	45.7
	データの活用	65.4	54.9	54.3
観点	知識・技能	55.3	56.6	56.2
	思考・判断・表現	58.0	54.5	53.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は55.6%であり、県の平均と同程度である。 ○数量の関係について、口を使って表された正しい図を選ぶ問題は、よくできている。 ●大きな数の表し方について正しい説明を選ぶ問題や、同分母の分数のひき算について、計算の仕方を説明する問題では、県平均を下回っている。	・解き慣れていない形式の問題や、考え方を説明することを苦手とする傾向が見られたので、日頃から様々な問題に取り組むようにさせたい。また、自分が解いた方法を式や図、言葉などを使って説明をする経験を積ませる。
図形	平均正答率は62.0%であり、県の平均を上回っている。 ○箱の横の長さから球の半径を求める問題や、正三角形や二等辺三角形を作図する問題は、よくできている。 ●球を平面で切った時に正しい切り口の形を選ぶ問題では、県平均を7.3ポイント下回っている。	・問題文の内容や条件を正確に読み取ることに難しさを感じている様子があり、正答率が下がっている傾向がある。今後は、様々な問題に触れさせ、読み取りにも重点を置いて指導していく。 ・図形の作図をしったり具体物を操作して考えたりするような活動を十分に確保していくようにする。
測定	平均正答率は46.3%であり、県の平均と同程度である。 ○重さを、基準値のいくつかで考え、説明する問題では、問題の設定をよく読み理解した上で正答が出せている。 ●時間と時刻を理解し、時刻を正しく求める問題では、目的地に到着した時刻から時間をさかのぼって	・普段の生活の中で時計を見て行動する経験が必要である。時刻と時間の言葉の意味を再度確認し、問題数をこなして慣れさせる。 ・重さの学習では、身の回りにある物の重さを実際に測定する活動を十分に行い、一人一人が測定する経験が積めるようにする。
データの活用	平均正答率は65.4%であり、県平均を上回っている。 ○全ての問題で正答率が県平均を上回っている。 文章で書かれた長文を読解し、二次元の表や棒グラフに示された値を読み取ったり、棒グラフの特徴と利点を選択したりすることができるかを見る問題が、よくできていた。	・今後もICTを活用しながら児童一人一人がいろいろなグラフを扱ったり目に触れたりする機会を増やしていく。 ・複合問題や文章問題に対応できるように、日頃から応用問題に取り組ませる。